

短期留学報告書（2015. 10.1～2015. 10.15、ラインスベルグにてヴァイオリンレッスン）
福井 恵

今回の短期留学では、ベルリン芸術大学の教授であるマリアンネ・ベッチャー先生の講習会に参加しました。講習会は、ベルリンから電車で1時間ほど行ったラインスベルグ（写真1参照）という場所でありました。ラインスベルグは小さなお城と湖がある小さな町なのですが、のどかでとてもきれいな場所であり一目見た瞬間大好きな場所になりました。

そのような素敵な環境の中で、毎日レッスンを受けたりヴァイオリンを練習したりすることができ、とても充実した日々を過ごせました。

講習会では、毎日ベッチャー先生とコレペティ（ピアノ伴奏）の先生である山口研生先生のレッスンを受け、最終日には、受講生のコンサート（写真2参照）に出演しました。ヴァイオリンの先生と伴奏の先生と、それぞれ違う観点からご指導を受け、多角的にひとつの楽曲に取り組むことができたように思います。ベッチャー先生からは、より体を脱力して楽器を鳴らすこと、音のバリエーションを豊富にもつことなどを教えていただき、山口先生からは伴奏と合わせるうえでのリズムのとらえ方やフレージングなどを教えていただきました。講習会を終えて曲の理解も深まりましたし、新しい曲へ取り組むときもこの講習会に参加したおかげで、より深く多角的に曲と向き合うことが少しはできるようになったのではないかなと感じています。

私は今年の3月に大学を卒業し、大学院の入試準備をするために4月からベルリンに行きます。長期留学の前に、短期留学という形でこのような体験をさせていただいた JGCC の皆様には本当に感謝しております。今回の体験を糧に今後とも精進してまいりたいと思います。応援よろしく願いいたします。この度は本当にありがとうございました。

写真1（ラインスベルグの夕日）



写真2（コンサート終了後）

